

2025年度 事業計画

2025年度 環境変化

1. 法人の置かれた環境

- ① 第9期介護報酬改定(2024年度～2026年度)2年目 保育政策は「量」から「質」へ
- ② 物価高騰の長期化と他産業の賃上げ
- ③ 介護・保育業界は人手不足が加速、介護事業所倒産増
- ④ 離職率低下傾向
- ⑤ カスタマーハラスメント対応
- ⑥ 児童・高齢者虐待の増加
- ⑦ 地域福祉活動への期待の高まり

2. 環境変化対応

- ① 実施事業での収入確保(定員充足、要介護度、加算取得、科学的介護LIFE対応)
- ② コスト意識、光熱水費の節減、処遇改善加算の適正配分
- ③ 新卒者採用担当の配置、経験者採用ツールの見直し(SNS活用)
- ④ 介護・保育機器、ICT機器の活用とやりがいを実感できる活動
- ⑤ 体制作りと職員教育
- ⑥ 介護・保育のスキルアップ、重大事故ゼロ、虐待ゼロ
- ⑦ 地域作りの推進(地域課題への取組み無くして法人は存続しない)

事業活動方針

進化・成長し、理念追及と経営安定の両立を目指す

2025年度重点課題

【収入】

- ① 各事業の収入をアップする(定員充足、稼働率、要介護度、加算取得)

【ご利用者サービス】

- ② 介護・保育のスキルアップ
- ③ 重大事故の発生回数ゼロ、児童・高齢者虐待ゼロ

【人材確保・育成】

- ④ 職員の確保
- ⑤ やりがいを実感できる活動
- ⑥ カスタマーハラスメント対応対策作りと教育
- ⑦ 新人事・給与制度の導入
- ⑧ ICT等テクノロジー機器の活用

【地域作り】—地域課題への取組み

- ⑨ 高齢者の権利擁護と介護予防、地域の子育て支援
- ⑩ 地域の子育て支援(子どもの困難への対応)

2025年度 方針展開(案)

進化・成長し、理念追及と経営安定の両立を目指す

○関連部署、◎主体部署→

高 ど つ 西 事

1. 経営の安定

① 各事業の収入をアップする (定員確保、稼働率、介護度、加算)	◎	◎	◎	◎	○
-------------------------------------	---	---	---	---	---

2. サービス

② 介護・保育のスキルアップ	◎	◎	◎	◎	○
③ 重大事故ゼロ、児童・高齢者の虐待ゼロ	◎	◎	◎	◎	◎

3. 人材

④ 職員の確保	◎	◎	◎	◎	◎
⑤ やりがいを実感できる活動	◎	◎	◎	◎	○
⑥ カスタマーハラスメント対応対策作りと教育	◎	◎	◎	◎	◎
⑦ 新人事・給与制度の導入	◎	◎	◎	◎	◎
⑧ ICT等テクノロジー機器の活用	◎	◎	◎	◎	○

4. 地域作り

⑨ 高齢者の権利擁護と介護予防	◎	◎		◎	○
⑩ 地域の子育て支援(子どもの困難への対応)	◎	◎	◎	◎	○

経営の安定

①各事業の収入をアップする

- 高殿苑、どうみょうじ高殿苑－稼働率、要介護度、加算取得（加算拡充検討）
- つぼみ－140名定員確保、特別支援児童受入
- 包括－予防プラン対応
- ※高殿苑・つぼみ保育園の修繕積立金の確保

サービス

②介護・保育のスキルアップ

- 介護スキル評価目標達成
カンファレンス定期開催、ユニットケアの充実、ユニットリーダー研修実地施設への体制整備
- 利用者に選ばれる保育園
子ども主体、豊かな感性、人権保障する保育実践 新スキルチェック導入

サービス

③重大事故、児童・高齢者虐待ゼロ

- 重大事故－人間違い誤薬、窒息、介助骨折、虐待発生防止
- 虐待－置き去り防止、身体拘束、回復可能性阻害
- 研修・訓練、合同事故会議情報共有

人材確保・育成

④職員確保

- 指定高校との連携、実習受入
西浦支援学校と連携、実習受入
- 保育・介護養成校との連携、実習受入
- 大学生実習、インターンシップ受入
- 経験採用
- コーチャー制度、フォローアップ研修
- 新人事制度
- SNS活用

人材確保・育成

⑤やりがいを実感できる活動

- 学ぶ風土と伝達能力の向上
改善取り組みと成果共有(発表会継続)
定期面談実施
- 全ご利用者の「夢」を叶えるプロジェクト「燦SUNプロジェクト」の推進

⑥カスタマーハラスメント対応

- 対策指針・マニュアル作成と教育研修

⑦新人事・給与制度

- 2025年度実施 職員育成

⑧ICTテクノロジー機器の活用

- 生産性向上 ケアの質の向上

地域作り

⑨高齢者の権利擁護と介護予防

- 外出機会の創出
- 介護(予防)教室、公開セミナー、リズム体操、相談会
- 居住支援法人活動

⑩地域の子育て支援(子どもの困難への対応)

- 子育てサークル、ベビーマッサージ園庭開放
- 子育て支援ヘルパー事業
- 子どもや高齢者の居場所づくり、生活困窮者世帯へのフードパントリー体制充実
高殿苑ひろっぱ、学習支援、
たかどの5丁目食堂

邦寿会 損益計算書(2025年度予算案)

(単位:百万円、%)

科目		2024年度				2025年度		
		予算	見込	予算比	前年比	予算	見込差	見込比
収 入		1,789	1,764	99	105	1,800	35	102
運 営 費	人 件 費	1,333	1,306	98	101	1,359	-53	104
	事 業 費	178	175	99	106	178	-3	101
	事 務 費	109	107	98	85	109	-2	102
	水道光熱費	83	87	105	106	88	-1	101
	修 繕 費	11	16	140	77	10	6	64
	減価償却費	186	181	97	104	179	2	99
計		1,900	1,872	99	101	1,922	-50	103
事 業 利 益		-111	-108	(+3)	(+66)	-122	-15	(-15)
施設整備等補助金収入		20	34	176	-	19	-15	(-15)
支 払 利 息		5	5	97	92	5	0	95
その他収支		-1	1	(+2)	(+6)	1	-1	(-1)
経常利益(寄付金除)		-97	-77	(+20)	(+106)	-108	-31	(-31)
寄 付 金		143	144	101	83	143	-1	99
経常利益(寄付金含)		45	67	(+21)	(+77)	35	-32	(-32)

※()は、予算差異・前年差異

収入・事業利益 施設別内訳(2025年度予算案)

(単位:百万円、%)

収 入	2024年度				2025年度		
	予算	見込	予算比	前年比	予算	見込差	見込比
高殿苑	899	902	100	106	908	5	101
どうみょうじ 高殿苑	672	636	95	105	666	29	105
西部包括	57	57	100	98	60	2	104
つぼみ保育園	161	168	105	104	167	-2	99
合計	1,789	1,764	99	105	1,800	35	102

事業利益	2024年度				2025年度		
	予算	見込	予算比	前年比	予算	見込差	見込比
高殿苑	26	28	(+2)	(+28)	8	-20	(-20)
どうみょうじ 高殿苑	-108	-116	(-8)	(+33)	-103	13	(+13)
西部包括	-0	0	(+0)	(-1)	-1	-1	(-1)
つぼみ保育園	-1	9	(+10)	(+1)	1	-8	(-8)
法人事務局	-28	-29	(-1)	(+5)	-27	2	(+2)
合計	-111	-108	(+3)	(+66)	-122	-15	(-15)

※()は、予算差異・前年差異

邦寿会 資金収支計算書(2025年度予算案)

(単位:百万円、%)

科目		2024年度				2025年度		
		予算	見込	予算比	前年比	予算	見込差	見込比
収 入		1,789	1,764	99	105	1,800	35	102
支 出	人 件 費	1,328	1,303	98	102	1,357	-54	104
	事 業 費	178	175	99	106	178	-3	101
	事 務 費	109	107	98	85	109	-2	102
	水道光熱費	83	87	105	106	88	-1	101
	修 繕 費	11	16	140	77	10	6	64
計		1,709	1,688	99	101	1,742	-54	103
事業活動収支		80	76	95	671	58	-19	76
施設整備等補助金収入		20	34	176	-	19	-15	55
設 備 投 資		168	167	100	182	164	3	98
借入金収入		300	0	0	-	134	134	(+134)
借入金返済支出		98	98	100	100	99	-1	101
	(借入元金償還)	93	93	100	100	93	0	100
	(支払利息)	5	5	97	92	6	-1	122
その他収支		-1	-1	(-0)	(+1)	1	2	(+2)
資金収支(寄附金抜)		133	-156	(-288)	(+26)	-52	104	(+104)
寄付金収入		143	142	100	82	143	1	100
当期資金収支		275	-13	(-289)	(-5)	91	104	(+104)

※()は、予算差異・前年差異

2025年度予算 設備投資計画案

(単位:百万円)

施設	種類	2024年度			2025年度	
		予算	見込	予算差	予算	見込差
高殿苑	①通常投資	1	1	1	4	3
	②ICT投資	14	15	0	2	-12
	施設計	15	16	1	6	-9
どうみょうじ高殿苑	①通常投資	125	119	-7	152	33
	②ICT投資	26	30	3	4	-26
	施設計	152	149	-3	156	8
つぼみ保育園	①通常投資	1	0	-1	2	2
	②ICT投資	0	0	0	0	-0
	施設計	1	0	-1	2	1
西部包括	①通常投資	0	0	-0	0	0
	②ICT投資	0	2	2	0	-2
	施設計	0	2	1	0	-1
法人合計	①通常投資	128	120	-8	158	39
	②ICT投資	40	47	6	6	-40
	法人計	168	166	-2	165	-2

【主な設備投資(予算)】

①通常投資

高殿苑

デイサービス風呂改修 4 百万円

どうみょうじ高殿苑

屋上・外壁改修工事 40 百万円(補助金10百万円)

非常用発電機 15 百万円(補助金4百万円)

井水浄水化工事 18 百万円(補助金5百万円)

火災報知・非常用放送 17 百万円

つぼみ保育園

芝生整備 1 百万円

②ICT投資

高殿苑・どうみょうじ高殿苑

つながる家族 2 百万円

どうみょうじ高殿苑

天井走行リフト 3 百万円

※①通常投資にはどうみょうじ高殿苑大規模修繕工事投資を含む。

邦寿会 手元資金(推移見込み)

■手元資金(推移見込)

(単位:百万円)

2022年 3月末 残高	2022年度 資金収支	2023年 3月末 残高	2023年度 資金収支	2024年 3月末 残高	2024年度 資金収支	2025年 3月末 残高	2025年度 資金収支	2026年 3月末 残高
454	76	530	-10	520	-13	507	91	598

■借入金

(単位:百万円)

		2024年 3月末 残高	2023年度 返済額	2025年 3月末 残高	2024年度 返済額	2026年 3月末 残高	返済 終了年度
既存分	高殿苑	600	46	554	46	508	2037年
	つぼみ保育園	158	12	146	12	134	2037年
	どうみょうじ高殿苑	150	35	115	35	80	2028年
	計	908	93	815	93	722	
新規分	どうみょうじ高殿苑	—	—	—	—	133	2037年
合計						855	

2025年度 施設方針

2025年度 高殿苑 施設方針

2025年度も引き続き、ご利用者の安心・安全な生活な継続できるよう介護事故の削減、ご利用者満足度の向上、支える職員のスキルアップと魅力ある職場づくりを実行すると共に、更に地域との関わりも積極的に進めていく事によって、予算目標を達成し収益を確保する。

1. 安心・安全な生活
2. 積極的な地域との交流
3. 収益の確保

1. 安心・安全な生活

① 重大介護事故「0」、介護事故総件数の削減へ

- a. 重大介護事故を「0」 3件(2024見込み) → 0件(2025)
- b. 総件数を前年の10%削減 192件(2024見込み) → 173件(2025)
- c. 施設責任件数を前年の10%削減 83件(2024見込み) → 75件(2025)

② ご利用者満足度の向上

- a. ご利用者満足度アンケートの実施と新たな課題への取り組み
- b. レクリエーションの充実(個別ニーズへの対応)

③ 職員個々の技術・技能の向上

- a. 新人事制度導入による全職種スキルチェック実施(7・12月/年)
特養・ショート部門695点(2024) → 705点(2025)
- b. 新卒入職スタッフの育成と独り立ち
- c. 学ぶ風土と伝達能力の向上 内外研修の受講、伝達研修の開催
- d. 各部署毎の改善取り組みと成果の共有(発表会の継続)
- e. 自施設災害時訓練から福祉避難所開設訓練

④ 人材の定着、魅力のある職場づくり

- a. ICT機器導入によるサービスの質向上と、職員の負担軽減(継続)
- b. 新人事制度に基づいた定期面談の実施(四半期毎)
- c. 施設全体・部署別職員レクの実施

2. 積極的な地域との交流

- ① 地域向け介護教室・健康講座の開催
 - a. 専門職による介護教室・健康講座を実施 2回(2024) → 3回(2025)
- ② 地域・居宅介護支援事業所向け、施設見学・食事会の開催
 - a. 地域住民向け 1回(2025)
 - b. 居宅介護支援事業所向け 2回(2024) → 6回(2025)
- ③ 地域事業所協働の活動
 - a. お買い物ツアー実施(6・12月/年)
 - b. 認知症声掛け体験等
- ④ 地域住民との交流
 - a. 子ども食堂の継続 1回/月(2024) → 継続
 - b. 地域行事への参加 高殿地域災害時訓練協働開催

3. 収益の確保

- ① 収入予算の達成
 - a. 計画的営業による新規利用者の獲得(訪問計画、チラシ作成、販促ツール)
- ② 適正支出
 - a. 新たな採用活動(SNSの活用)、適正人員配置

2025年度 どうみょうじ高殿苑方針

ご利用者・ご家族・地域住民に寄り添い、
安らぎのある日々の生活をみんなで創り、
笑顔が溢れる総合福祉施設を目指す。

- 1 生活支援体制の充実
- 2 事業基盤の再構築と強化

Ⅰ 生活支援体制の充実

(1) コミュニケーションスキルの向上

- ①全ご利用者に対するコミュニケーション力の向上を目指した「認知症ケアスキル」の向上
- ②電話対応力と来苑者対応力の向上を目指した「接遇・5Sスキル」の向上
- ③チームケア力の向上とヒューマンエラー削減を目指した「ノンテクニカルスキル」の向上

(2) 重大事故の発生防止 (2023年度-2024年4-12月)

- ①人違い誤薬 (1-0)・離設 (0-0)・介助中の骨折 (0-1)・窒息 (0-1) ⇒ ゼロ
- ②介護原因事故 (46-33) ⇒ 10%ダウン
- ③気づきシート (1130-740) ⇒ 1200件 (事故120件×10倍)

(3) 個別サポートの充実

- ①全ご利用者の「夢」を叶えるプロジェクト「燦SUNプロジェクト」の推進
- ②介護保険外サービスの拡充による在宅生活の継続支援

(4) 地域住民の権利擁護を目的とした「ネット」で支える社会貢献活動

- ①子どもや高齢者等の居場所づくり、生活困窮世帯へのフードパントリーの体制充実
- ②災害時に担える施設体制の整備・地域との連携

ノンテクニカルスキルとは？

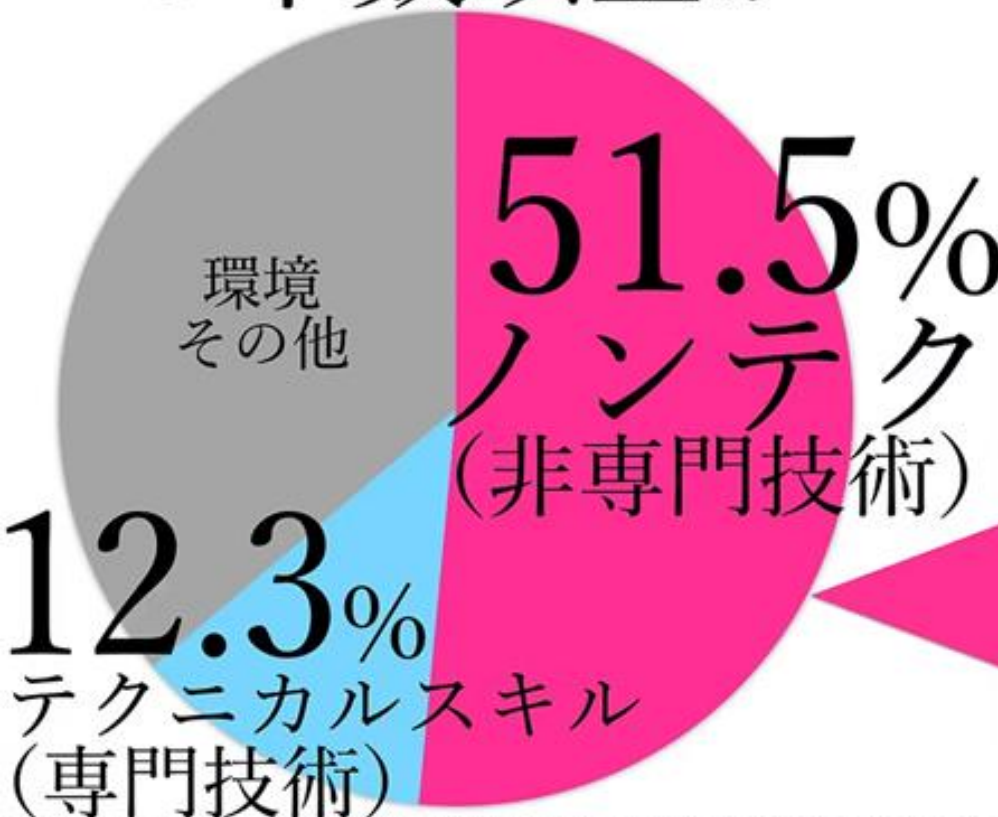
医療者に求められる**スキルセット**が変わる

ノンテク (非専門技術)



ノンテクニカルスキル不足による事故が大半

医療事故の要因の半数以上が **ノンテク** 不足



- ① 確認を怠った 11.3%
- ② 観察を怠った 10.5%
- ③ 判断を誤った 9.6%
- ④ 連携ができていなかった 5.2%
- ⑤ 患者への説明が不十分であった 4.8%

2 事業基盤の再構築と強化

(1) 収入アップ・支出ダウンによる収益構造の改善

①既存事業の運営・サービスの見直し

- i 施設:特養、グループホーム、ケアハウス(一般・特定)
- ii 在宅:ショート、デイ、ヘルパー、プラン、居住支援法人・居住支援協議会
- iii 共通:厨房、医務、事務所

②新規事業の実施(自費サービス、障がい者就労支援事業、シェルター等)

(2) ICTを活用した業務改善

①ご利用者満足度向上を目的とした業務課題の見える化に基づく業務改善活動

②全部屋・全物品の担当制による5S活動の推進

③スマホ、システム活用による記録・情報共有の効率化

(3) 多様な人材の確保と育成

①専門職業務と非専門職業務の整理による多様な人材の受入体制整備

②高校生・大学生等のボランティア・実習・インターン・アルバイトの積極的受入体制整備

③入職年度毎や横断的な職員交流(施設内他部署研修、Off-JT研修、懇親会)

旭区西部地域包括支援センター 【2025年度方針】

地域包括ケアシステムの深化・推進に向け、
「元気・笑顔・安心」に満ちたまちづくりに取り組む

1. 地域ケア会議の充実

- ① 自立支援型ケアマネジメント検討会議の運営
- ② 個別ケース会議の開催
- ③ 研修会への積極参加（困難ケースへの対応、職員のスキルアップ）

2. 元気・笑顔・安心に満ちたまちづくりに取り組む

「元気」

- ① リズム体操の継続、シルバーeスポーツの定期開催
- ② 健康長寿を目指す
- ③ 自立支援、重度化防止の意識の定着

「笑顔」

- ④ 高齢者の社会参加と生きがいづくり
- ⑤ 介護家族への支援

「安心」

- ⑥ 防災啓発・権利擁護の取り組み
- ⑦ 地域の見守り活動への協力
- ⑧ 重層的支援体制の維持、向上

1. 地域ケア会議の充実

テーマ	取り組み	計画	担当
①自立支援型ケアマネジメント検討会議の運営	①外部助言者を招集し自立支援型ケアマネジメント検討会議を開催する ②小会議は主任介護支援専門員向け法定外研修として開催する ③検討会議で取りまとめた地域課題を区運営協議会へ報告する	4回 2回 1回	山口 八橋 嶋田 小名川 河相
②個別ケース会議の開催	①権利擁護、課題解決へのスピードアップを図る ②外部講師による振り返り研修から、センターの対応力向上を図る ③会議終了後のアンケート分析から、会議の質を高める	通年 1回 毎回	包括職員 包括職員 包括職員
③研修会への積極参加	①各分野の専門知識を深める ②旭区内3地域包括共催による弁護士相談において、法的観点からのアドバイスやミニ講座を依頼する	通年 3回	包括職員 包括職員

2. 元気・笑顔・安心に満ちたまちづくりに取り組む

①リズム体操継続、シルバーeスポーツの定期開催

テーマ	取り組み	目標	担当
運動、交流、認知症予防の創出	①介護予防教室「リズム体操」の継続実施	24回	小名川 嶋田 坂本 山口 宮脇
	②認知症予防シルバーeスポーツの開催	6回	

②健康長寿を目指す

テーマ	取り組み	目標	担当
健康講座や介護予防への取り組み	①3師会と連携した区民対象の健康講座や健康相談会への共催及び協力	3回	包括職員
	②近隣病院との健康講座	1回	嶋田
	③福祉用具事業所とAI歩行評価のコラボ開催	1回	小名川
	④地域住民向け認知症講演会・相談会の開催及び協力	1回	山口
	⑤認知症ライブラリーの開催	1回	八橋

2. 元気・笑顔・安心に満ちたまちづくりに取り組む

③ 自立支援、重度化防止の意識の定着

テーマ	取り組み	計画	担当
自立意識を高める	①初回訪問時に自立、重度化防止を説明	随時	包括職員
	②自立支援及び社会資源を活用したケアプラン作成の指導	随時	包括職員

④ 高齢者の社会参加と生きがいづくり

テーマ	取り組み	計画	担当
高齢者の社会参加の実現	①地域住民へのニーズ聞き取りから、体制整備事業と新たな交流の場を協働する	通年	山口
	②スマートフォン講座の継続開催	3回	小名川 嶋田
地域、関係機関との共催催事	①旭通り商店街との催事を立案、実施をする。	1回	河相

2. 元気・笑顔・安心に満ちたまちづくりに取り組む

⑤介護家族への支援

テーマ	取り組み	計画	担当
認知症の理解を深める	①認知症をテーマにした映画上映会の開催	1回	小名川 嶋田 八橋 坂本
	②若年性認知症の学びの会	1回	

⑥防災啓発・権利擁護の取り組み

テーマ	取り組み	計画	担当
防災意識の向上	①消防署と住まいの防火診断・減災のミニ講座の実施	1回	河相
	②民生委員協議会での周知活動	1回	山口
消費者詐欺被害の防止	①警察署と詐欺被害防止啓発事業の実施	1回	河相
	②民生委員協議会での周知活動	1回	八橋
認知症高齢者等の権利擁護支援	①あんしんさぼーと、成年後見制度活用の支援	随時	包括職員
	②専門職及び地域住民に向け研修会	1回	八橋 山口

2. 元気・笑顔・安心に満ちたまちづくりに取り組む

⑦地域の見守り活動への協力

テーマ	取り組み	計画	担当
要援護者の早期対応の体制作り	①地区民生委員などの地域支援者と要援護者情報を共有する	毎月	包括職員
地域ネットワークとの連携	①各地区振興町会組織の会議参加にてつながりを維持	随時	包括職員

⑧重層的支援体制の維持、向上

テーマ	取り組み	計画	担当
認知症高齢者等支援ネットワークとの連携	①旭区認知症地域支援事業(ほっとかんネット)による専門職・関係機関との連携強化	3回	包括職員
	②地域課題抽出会議にて関係者との課題の共有	1回	包括職員
	③認知症キッズサポーターの養成講座の支援	1回	八橋
高齢分野以外の機関との結び付き	①総合的な相談支援体制の充実事業	随時	包括職員
	②高齢・障がいサービス事業所との研修会の開催	随時	包括職員

2. 元気・笑顔・安心に満ちたまちづくりに取り組む

⑧重層的支援体制の維持、向上

テーマ	取り組み	計画	担当
在宅医療・介護連携、 介護事業者との連 携	◎在宅医療・介護連携 ・在宅医療・介護連携推進会議への継続参加 ◎介護事業者 ・旭けあねっと開催支援 ・介護事業者連絡会への参加 ・グループホーム運営推進会議への参加 ・ケアマネジャーの資質向上に向けた研修の開催 ・自立支援に向けたケアマネジャーのニーズ調査	随時 12回 12回 24回 随時 1回	嶋田 河相 包括職員 河相 山口 八橋
地域貢献ネットワー ク	◎看護課程養成実習(大阪公立大学) ◎所属商店街の定例会議への参加 ◎車いす無料貸出し事業	4人 10回 随時	小名川 嶋田 河相

つばみ保育園 2025年度 方針

こども家庭庁 保育政策は「量」から「質」へ

今後の保育の方向性は、

- ①地域のニーズに対応した質の高い保育の確保・充実
- ②すべてのこどもの育ちと子育て家庭を支援する取り組みの推進
- ③保育人材の確保、テクノロジー活用による業務改善

3つの柱を軸に保育の質の向上を図る と示されている

→ つばみ保育園 2025年度の方針は、

「保育の質をより一層高める」ことを 最重要課題とする

- ①質を高めるためには、保育・教育カリキュラム内容の見直し
- ②物的・人的環境要因の検討
- ③運営方法や保育現場の対応の仕方
- ④職員と保護者の関係性、保護者やこどもたち同士の関係性（保護者同士の関係性）

2025年度 方針

1.安全な教育・保育環境を確保し、こどもの命を守る

- ①重大事故を発生させない、事故予防対策を徹底する
- ②こどもの心身の健康増進と健やかな生活確立する
- ③虐待や問題を抱えたこどもを守り育て、保護者支援をする

2.質の高い保育・教育サービスを提供する → 利用者に選ばれる保育園

- ①こどもの人権を保障する保育実践を行う
- ②こども主体の質の高い保育サービスを提供する ご利用者の満足度を高める
- ③特別支援児童保育を拡充する

3.地域の子育て家庭に対する支援を充実する → 地域支援担当保育士を補充する

4.職員の定着と育成を強化する → 働きやすい環境 ← 保育士に選ばれる保育園

- ①保育人材の確保、心にゆとりを持つことができる職員配置をする
- ②新人事制度により、キャリア形成に活かしモチベーションを高める 新スキルチェック導入
- ③保育士の業務改善を行う デジタル化による事務量の削減

1.安全な教育・保育環境を確保し、こどもの命を守る

重点課題	具体的な方策	目 標	計画・担当
★良質な環境整備 ①重大事故を発生させない、事故予防対策を徹底する	重大事故を確実に防ぐために、日頃から職員間の連携を強化し、一人ひとりが事故防止に取り組むという意味をもって行動する ※絶対に防ぎたい重大事故とは ①SIDS（乳幼児突然死症候群） 個々の成育歴の把握する 健康状態を観察する こどもが睡眠中において保育士の見守りの注意点 あおむけ寝 うつぶせ寝防止をする 全て記録に残す 睡眠中の呼吸チェック（5分毎） 保育士の手をあてて呼吸チェックする 眠りを深くしない 寝具の点検 睡眠時、掛布団はお腹を保護する程度 ②誤嚥 食事の援助は、特定保育士が行う。（担当制） こどもの食事の分量、食べ方の癖や咀嚼力、 嚥下力の発達を熟知した保育士が対応する 睡眠前の口腔内チェックをする ※玩具の点検 玩具の破損、大きさ、硬さや柔らかさ等 ③プール遊び中の事故 水深3センチでも溺れてしまうため、 水遊び中は、こどもから目を離さない ④大型遊具からの転落 戸外遊び中、保育士の見守り場所、役割分担の徹底 大型遊具点検 ⑤熱中症 戸外・室内共に、どこで何をして遊んでいるか？ 保育場所の移動の際には、人数確認の習慣をつける	重大事故 ゼロ ヒヤリハット内容 （気づき件数）を 増やし事故予防 につなげる	4月～各担任 看護師 ICT活用した 午睡チェック併用 する 毎月、クラス主任 会議（安全対策会 議）を実施する 毎日 担任 月1回点検する *救命講習を 受講する シミュレーション 訓練を行う 2カ月に1回

1.安全な教育・保育環境を確保し、こどもの命を守る

重点課題	具体的な方策	目 標	計画・担当
①重大事故を発生させない、事故予防対策を徹底する 事故を防ぐための良質な環境整備	⑥園児の置き去り事故防止 職員間の連携が重要であり、活動が変わる際、保育場所の移動の際、人数確認を徹底する 散歩マニュアル・散歩マップを活用する ⑦年齢別成長に伴い、安全管理を行う 0歳児 頭部の大きさに起因する転倒事故に注意する 1歳児 歩行ができるようになり、行動範囲が広がる 「ひっかき」「噛みつき」が多い時期であり 室内環境整備、人員配置で頻度を下げる 2歳児 行動が活発になるが、危険予知能力は未熟である こどもの行動を予測する保育士の能力を高める 3～5歳児 周りの児童との関わりの中から、 トラブルが増える。安全な遊び方自分の身を守る 力をつけるための安全教育カリキュラムを実施する ※未然防止対策について 全職員、自園の事故傾向を把握する ①保育安全衛生管理マニュアルを遵守する 想定される事故項目については更新し、見直す ②他園の事故事例、自園のヒヤリハット事例を 安全管理に生かす ③安全点検表を活用し、具体的な安全点検を行う ④遊具の使用方法については、こどもも職員も共通理解 ができているか確認する ⑤専門機関と連携を図り、必要な研修や訓練を 定期的に行う	重大事故 ゼロ 各クラスの事故 件数ゼロ 「ひっかき」 「噛みつき」 を予防する	4月～各担任 毎月、各クラスの 振り返りを行い、 未然に事故が防げ る対策を構築する 2ヵ月に1回 見直す 月1回点検する 3ヵ月に1回 研修を受講する 山邊

1.安全な教育・保育環境を確保し、こどもの命を守る

重点課題	具体的な方策	目 標	計画・担当
②こどもの心身の健康増進と健やかな生活確立する	①特異体質児童に配慮した育児活動をする (低出生体重児、食物アレルギー児童 熱性けいれん 偏食児童(感覚過敏)児童が在園) ・児童のかかりつけ医療機関と連携を図る ・保護者との連携を密にする ・こどもに無理強いをしない ・大阪市主催 栄養講座を受講する ＊アナフィラキシーショックに対応できる シミュレーション訓練を実行する	心身の成長 発達を目指す	4月～各担任 管理栄養士 看護師
③虐待や問題を抱えたこどもを守り育て、保護者を支援する	②虐待の未然防止 身体的虐待、心理的虐待、ネグレクト、性的虐待等 こどもの異変に気づけるよう、視診を習慣にする (こどもの体調、こどもの行動、情緒面、表情など) 保護者に寄り添い、保護者の様子に気を配る 信頼関係が築けるように、日々のコミュニケーションを 大切にする 旭区保健福祉センター、北部こども相談センターとの 連携を行う 虐待防止研修に参加する	虐待件数ゼロ	4月～各担任 看護師 年3回以上

2.質の高い保育・教育サービスを提供する

重点課題	具体的な方策	目 標	計画・担当
①こどもの人権を保障する保育実践を行う	①不適切な保育について学ぶ 人権擁護の観点から良くないと考えられる関わり方を行わない(下記) ・こどもの人格尊重しない関わり ・物事を強要するような関わり・脅迫的な言葉かけ ・罪を与える・乱暴な関わり ・一人ひとりのこどもの育ちや家庭環境を考慮しない関わり ・差別的な関わり 常に、こどもにとってどうなのか?という視点から考えて保育を行う 保育士の関わり方チェックリストを活用して自身の保育を振り返る *定期的に公開保育研修を実行する *アンガーマネジメント研修を受講する(内部研修)	こどもの人権を守る	人権保障保育ができているかチェックリストにより自己評価を行う(2か月に1回)
②こども主体の質の高い保育サービスを提供する	②育児担当制保育の技能力を向上する ・特定保育士とこどもとの愛着関係を築き、一人ひとりのこどもに丁寧な保育活動をする ・新保育士スキルチェック表は、保育理念や自身の保育観を確認できる 詳細な評価項目においてスキルアップを目指す	保育士スキル 技能力 目標数値 達成度95%	4月から乳児クラス担任は、育児担当制スキルチェック表において自己評価を実行する

保育士スキルチェック表			2025
			つばみ保育園
1. 保育の理念・保育観			
	内容	自己評価	評価者 評価
①	児童福祉法の理念に基づき一人ひとりのこどもの存在と人権を尊重できているか		
②	保育所保育指針を定期的に読み、ガイドラインとして、保育方法に取り入れているか		
③	自分自身の保育がこどもの障がいの基礎を培う大切な役割を担っていることを意識しているか		
④	養護と教育が一体となる保育が行えているか		
⑤	在園児のみならず、保育園は社会的に子育て支援の場であることを意識しているか		
⑥	こどもの性差や個人差に留意しながら固定的な性別役割分業のないように保育しているか		
⑦	日常的に、こどもに身体的苦痛を与えたり、精神的苦痛を与えていないか		
⑧	こもだけでなく、その家庭の守秘義務を尊重できているか		
⑨	こどもの家庭環境の違いを考慮し、そのこどもにとって適切な対応ができているか		
⑩	保護者と意見の食い違いが生じても、気持ちを受け止め、相手の立場や役割を理解するよう努めているか		
2. 保育計画・指導計画			
①	保育所保育指針をもとに、保育計画を立案できるか		
②	法人理念・保育方針の実現に向け、保育指導計画を作成できるか		
③	指導計画は、教育的側面（五領域の視点）だけでなく、養護的側面も盛り込まれているか		
④	こども一人ひとりの発達や成長、興味の対象の実態を把握して個別計画を作成しているか		
⑤	担任間でよく話し合い、お互いの考えを十分に理解した上で、計画を作成しているか		
⑥	園の方針や理念、指導計画などを保護者に説明できるか		
⑦	季節感や行事などを意識した指導計画を立案しているか		
⑧	年齢・月齢に見合ったあそびの内容や、遊具や用具の提供をできるか		
⑨	自身の作成した指導計画の反省評価ができているか		
⑩	こどもの特徴、成長を的確にとらえた姿を滞ることなく記録できているか		
3. 乳児保育			
1) 0歳児保育			
(食事援助)			
1	こどもが納得して遊びを終え、食事を行えるような言葉かけができているか		
2	職員自身が衛生面に留意した身支度ができているか		
3	こどもを待たすことなく食事の準備を行えているか		
4	食事の手順を把握し、こどもに食事を促せているか		
5	食器の配置は正しいか		
6	こどもの座位に合わせた椅子の位置の調整ができているか		
7	こどもの正面又は、横からの援助ができているか		
8	補助スプーンでの援助は正しいか		
9	食事への意欲が沸くような声掛けができているか（せかさない）		
10	食べることを無理強いしていないか（急かさない）		
11	こどもの食事を把握しているか		
12	こどもに適した食材の形状・一口量を把握し、詰め込み過ぎでないか		
13	こどもの口の動きを観察し、口の中がなくなってから次の食材を口に運んでいるか		
14	食後のタオルでの拭きあげは、口を塞がないように、口周りを拭いているか		
15	ミルクを飲ませる際、こどもの姿勢を正しく保てているか		
16	ミルクを飲ませる際、こどもと目線を合わせ、表情をみているか		
17	食事の際、正しい姿勢でこどもが椅子に座れているか確認できているか		
18	食具の扱い方、こどもの発達段階に応じた援助ができているか		
19	離乳食又は、アレルギー児への配慮・食事内容の確認が丁寧にできているか		
20	ミルクの温度は適切か		

(着替えの援助)		
1	声をかけてから動作を行っているか	
2	こどもの左が先になるよう衣服の着脱を促せているか	
3	服を無理に引っ張ったりせず、こどもの腕や足の動きを促すような補助ができているか	
4	服で顔が隠れてしまう時間が短くなるよう素早く丁寧な援助ができているか	
5	ズボンの着脱の際、立ったままの着脱にならないよう、椅子に座らせるタイミングは適当であるか	
6	衣服の前後・表裏など、正しく着られているか、乱れはないかの確認を行う	
7	靴が正しく履けているか確認する	
8	目線を合わせて援助を行う（座って）	
9	脱いだ服をたたむよう働きかけているか、または、保育士がたたんでいるか	
10	こどもが自発的に着脱できるように待つことができ、適切な援助ができているか	
(排泄)		
1	おむつ交換台にこどもを寝かせる際に、頭の下に手を入れているか	
2	おむつ交換をする際に排泄をして不快な気持ちを共感し、きれいになることの心地よさを感じられるような言葉かけができているか	
3	おむつ交換台にこどもを寝かせてからその場を離れていないか	
4	正しい身支度で排便交換ができているか	
5	お尻拭きシートを使いすぎているか	
6	素早くきれいに排便の拭き取りができているか	
7	新しいおむつを付ける際に、足を引っ張らずお尻をあげるようにして付け替えができているか	
8	おむつ交換台からこどもを起き上がらせる際に、保育士の指を持たせ、腹筋を使うような起き上がらせ方ができているか（園児と息を合わせる）	
9	こどもの排泄の失敗を叱責していないか	
10	トイレでの排泄の成功を共感し、自信につながる声掛けができているか	
11	こどものタイミングを把握し、排泄に誘いかけているか	
12	おむつ交換は人目にふれない、決まった場所で行う	
13	排便後のおむつ交換台の処理は適切か	
14	トイレでの排泄中にしっかり見守りができているか（放置していないか）	
15	声をかけてから、おむつのチェックをしているか	
(午睡の援助・見守り)		
1	こどもの睡眠のタイミングを把握できているか	
2	トントンをするテンポは速すぎないか	
3	トントンをする強さは強すぎないか	
4	心地よい睡眠となるよう、こもりうたを歌っているか	
5	布団のかけ方は適切であるか	
6	うつ伏せに寝かせていないか	
7	呼吸チェックが適切に行えているか（5分おき）	
8	睡眠を無理強いしていないか	
9	起床後の過ごし方の保証ができているか	
10	こどもの睡眠体勢を把握しているか	
(接し方)		
1	手をつなぐ際は、保育士の手をこどもが握るようなつなぎ方ができているか	
2	目線を合わせて会話をしているか	
3	こどもの気持ちをくみ取るような語りかけができているか	
4	こどもの名前を正しく呼んでいるか	
5	大声で話かけたり、遠くから呼びかけていないか（言葉を手渡す）	
6	突然園児の前からいなくなるような行動はしていないか（声をかけてから動作する）	
7	こどもと室内で遊ぶ際、あぐらをかいしたり、足を伸ばして座っていないか	
8	こどもの言葉の獲得につながる正しい日本語での声掛けができているか	
9	泣いている園児に気づき、すぐに対応できているか	
10	こども同士のトラブルの際、両者の思いを理解し、代弁することができているか	
11	こどもの個性や発達を理解して、個々に合わせて対応しているか	
12	こどもの主張や表現を適切に受け止め、気持ちに寄り添った保育を行っているか	
13	一人あそびをしている時は、そっと見守り、不要な声掛けをしない	
14	大人の都合で抱っこをしない	
15	こどもを抱き上げる際は、正面から抱き上げる（後ろ・横からは×）	

2.質の高い保育・教育サービスを提供する

重点課題	具体的な方策	目 標	計画・担当
②こども主体の 質の高い保育サービス を提供する	①幼児→ピラミード教育法に基づき保育実践。 毎月決められたテーマに基づいて、こどもたちが 主体的に活動できるように保育環境を整える 遊びと学びの保育環境を充足させる 準備された遊びのコーナーのどこで遊ぶのか、自身で 選択し、少人数のグループ、または一人で遊ぶ ②プロから学ぶカリキュラム（外部講師による） 英語、音楽（リトミック・合奏指導、歌唱）体育、科学遊び 絵画教室、それぞれの講師と保育士と一緒に年間計画をたて こどもの興味や関心度を高める（月1回） ③世界に視野を広げる（海外児童との交流） SDGsの観点からも世界を知り、水育、木育等につなげて 総合的に学ぶ ④行事の見直しをする こどもたちに無理のないよう、楽しめる行事であるか？ 検討する（運動会、生活発表会内容等） プログラム内容が多すぎて負担になっていないか？ 日常保育の積み重ねがこどもたちの経験となる 若手保育士中心に行事改革委員を設立する ⑤様々な人との交流を深める。 高殿苑ご利用者とのふれあい回数を増やす ご挨拶訪問 行事交流 地域の中学生との交流（職場体験受入・実習の受け入れ） 地域の未入園児との交流（一緒に遊ぶ）	利用者に 選ばれる保育園 こどもファースト こどもたちが 得意とすること 好きな遊びを見 つけられるよう に、様々な経験 をする 地域のこども との交流を活発 にする	4月から 幼児 クラス担任は、 当番を決めて テーマ保育の 環境を整える 年度初めには、 運動会テーマ、 生活発表会 作品展の 参考絵本は 決める 各担任） 奇数月で委員 会を開催する

2. 質の高い保育・教育サービスを提供する

重点課題	具体的な方策	目 標	計画・担当
③特別支援児童保育を拡充する	①特別支援児童保育・教育は、個々に応じた援助計画を実践する 年初1名⇒ 3名 第2種知的障がい(4歳児 男児1名) ・療育ディー等 専門機関との連携を活かす ・年3回以上の個人面談を行う ・安全な保育環境を整備する ・落ち着いて活動できる居場所スペースを確保する ・成長発達に見合った教材を用意する ・全職員で、見守り、愛情いっぱい保育する ・年度途中、地域のニーズ(特別支援児童)を受け入れる ・医療的ケア児の受け入れ強化→医療機関との連携 看護師1名補充	心身の成長 発達を目指す 健常児と共に過ごす中で、良い影響を受ける	各担任

3. 地域の子育て家庭に対する支援を充実する

重点課題	具体的な方策	目 標	計画・担当
①地域支援担当保育士が中心となり、地域支援活動を実行する	①子育て支援活動プログラムを増やす 子育て相談 電話相談 ベビーマッサージ、体軸、子育てサークル 絵本の貸し出し 園庭開放 栄養講座、親子クッキング、絵本講座 ママのリフレッシュ企画 パパと一緒に ②「あさひ子育て安心ネットワーク」との連携を活発にする ③家庭に問題を抱えるこどもの支援をする * 「こども家庭福祉ソーシャルワーカー取得支援	開催目標 15回以上 利用人数 140人以上	5月～ 里、米本 小田

4.職員の定着と育成を強化する

重点課題	具体的な方策	目 標	計画・担当
①保育人材の確保、心にゆとりを持つことができる職員配置をする	①年間通して保育士の募集活動に努力し、良い人材を採用する ★ICT (Instagram、LINE等) を活用し採用活動をする ★短大生、大学生アルバイトも受け入れる 保育士という仕事の魅力を実感していただき、資格取得できれば引き続き勤めていただけるように、学生の不安を取り除く ★休憩代替保育士を補充 ★ノンコンタクトタイム確保 ★(土)勤務可能非常勤職員の採用 ★シフト勤務可能非常勤職員の採用 ★リフレッシュ休暇を増やす 有休消化率を上げる ★会議を縮小。小集団で短時間会議 ★10分間研修を取り入れる	保育士に選ばれる 保育園 ワークライフバランスを実現する	山邊
②新人事制度により、キャリア形成に活かしモチベーションを高める	②新人事制度を導入することにより、個々のモチベーションを高く持ち保育できるように、管理職との面接回数を増やす 移行時期なので、職員に丁寧に説明する ②キャリアアップ研修の受講 (8項目) 全職員 対象 1. 乳児保育 2. 幼児教育 3. 特別支援児童保育 4. 食育アレルギー対応 5・保健衛生・安全対策 6. 保護者支援・子育て支援 7. 保育実践 8. マネジメント	全てのキャリアアップ 研修科目を 受講できる支援をする	大場山邊
③保育士の業務改善を行う	③保育士の業務の効率化を図る ③子育て支援員と保育士との役割分担を明確にする ③児童の記録、デジタル化により効率化を実現する 児童の記録日を設定し、保育から離れる 延長保育日数計算、写真購入、給食日数等、 事務作業を簡略化する	デジタル化による 事務量の削減	山邊

以上